

2021

6/19 Saturday

III



岡田直太

東京大学 I-RCN



大川妙子

名古屋大学 I-TbM

生物

6/26 Saturday

IV



白幡直人

物質・材料研究機構 MANA



畑澤順

大阪大学 I-FReC

物理

7/3 Saturday

V



中島祐

北海道大学 I-CReDD



尹基石

九州大学 I²CNER

化学

とどけ! WPIの最新研究 2021

教育関係者のための研究最前線講座

III・IV・V

WPIの6拠点が共同で実施するセミナーシリーズ

世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI) の6拠点が主催する、中高生の教員を対象とした無料オンラインセミナーを開催します。「一押しの最新研究」についてや「学校の教科と研究の関わり」「研究者の日常」など、研究に興味のある方はもちろん、生徒との科学の話題を探している方にもお楽しみいただけるイベントです。普段聞く機会の少ない最先端の研究にご自宅や学校からオンラインで触れてみませんか? 日本全国の先生に WPI の最新研究をとどけたい、そんな私たちの思いがとどきますように。

各シリーズのプログラム

15:00 - 15:10	WPI 拠点紹介
15:10 - 15:40	研究者トーク1 + 質疑応答
15:40 - 16:10	研究者トーク2 + 質疑応答
16:10 - 17:00	研究者クロストーク



形式：オンライン講義
対象：教育関係者（学校教諭）・一般
事前申し込み制（参加費無料）
◀お申し込みはこちら
<https://forms.gle/eLud38qhMvPLmCEZ9>

主催：世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI) 6拠点

- ・ 東京大学 国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構 (WPI-IRCN)
- ・ 名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 (WPI-ITbM)
- ・ 物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点 (WPI-MANA)
- ・ 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター (WPI-IFReC)
- ・ 北海道大学 化学反応創成研究拠点 (WPI-ICReDD)
- ・ 九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (WPI-I²CNER)





とどけ! WPIの最新研究 2021

教育関係者のための研究最前線講座 III

人間のこころと脳 × 生き物の適応と体内時計



岡田 直大 特任准教授

東京大学 国際高等研究所
ニューロインテリジェンス
国際研究機構 (WPI-IRCN)

『人間のこころを
生物学的に理解する』

人間のこころは、もともとの特性（性格等）が関係し、さらに外界要因により容易に変動しうる。これらはいずれも目に見えないものであり、身体と独立して（非生物学的に）認識されがちである。しかし実際、人間の精神的な活動には、脳が大きく関与している。近年、脳の特徴の観察を通じて、人間のこころを生物学的に理解しようとする研究が進められている。今回の講座では、思春期発達やこころの病気に関する脳研究を紹介する。

2021
6/19
Saturday
15:00 - 17:00

生物

WPIの6拠点が共同で
実施するセミナーシリーズ

対象

教育関係者（学校教諭）・一般



大川 妙子 准教授

名古屋大学
トランスフォーマティブ
生命分子研究所 (WPI-ITbM)

『化合物で体内時計を制御する
様々な生物に学ぶ』

生物は体内時計を利用して、昼夜の変化や季節の変化などの地球上の周期的な環境変動に適応している。また体内時計はヒトの疾患にも深く関わっていることが明らかとなりつつある。私たちは、合成化学の研究者と共同で、化合物を利用して体内時計の仕組みを理解し制御することを目指している。今回の講座では、マウスやメダカなど様々な生物を用いて行った研究を紹介するとともに、ヒトの疾患との関連についても考察したい。



生命科学と情報科学をつなぐ新学問分野ニューロインテリジェンスの創設を目的に発足。ヒトの神経回路の形成原理を明らかにし、その原理に基づく革新的 AI の開発、精神疾患の克服を通じて『ヒトの知性はどのように生じるか?』という究極の問いに迫ります。



◀お申し込みはこちら
(参加費無料、※切: 6/16)
<https://forms.gle/eLud38qhMvPLmCEZ9>

【お問合せ】

東京大学 WPI-IRCN
E-mail: press@ircn.jp
TEL: 080-4066-7582 (mobile: 井尻)

名古屋大学 WPI-ITbM
E-mail: rpd@itbm.nagoya-u.ac.jp
TEL: 052-789-4999 (三宅・高橋)



「分子で世界を変える」ITbM は、私たちの生活を変える革新的な生命機能分子「トランスフォーマティブ生命分子」を生み出すため、名古屋大学の強みである合成・触媒化学、動植物生物学および理論科学の融合により新たな研究分野の創生を目指しています。